

北上市立大学（仮称）基本構想策定委員会 付帯事項

➤ 委員会の結果

- 第４回委員会で出された意見（議事録、エッセンス）を付帯事項とし、北上市立大学（仮称）基本構想素案が了承された。

➤ 主な付帯事項（委員会で出された主な意見）

- これからも説明であるとか、繰り返した方がいいと思う。
 - ➡ 説明は続けていく。（事務局）
- Q & A をぜひきちんと作っていただきたい。短くエッセンスをまとめるようなことも必要。
 - ➡ 整理してやっていきたいと思う。（事務局）
- この策定委員会という名前は一切出てこない形で終わるということか。
 - ➡ 盛り込みたいと思う。（事務局）
- （学科について）建築学科とか建設を学べるコースっていうのを設置すべき。
 - └ 1つの考え方として、地域や地域企業の強みのある分野というのはある。その地域の強みが何であるかっていうことを勘案して設定するのが良い。
- （レイトスペシャリゼーションについて）やりたいことが決まっている人に対して、ちゃんとその人の進路を保障するっていうことは大事。
 - └ より自由度があるカリキュラムを選択できるのがレイトスペシャリゼーションで、強い信念を持ってこの分野どうしても自分がやりたいと思ってる人はそれも叶えられるというのが、レイトスペシャリゼーションの良いところ。
- 留年しなくても、長期留学可能な大学とか、そういう制度を考えていただきたい。
 - └ 制度設計の中で考えていく必要がある。
 - └ 今のグローバルスタンダードな日本の大学はそうになっている。
- 動画やSNSで情報を得る人の方が多いので、若者に合わせた情報発信をしていただきたい。わかりやすいキャッチフレーズも重要。
- 本当に届けたい若者とか、地元の方に届く方法で、きちっと伝えていく必要がある。
- 市民にもうちょっと細かい情報発信が必要。納得させるための市側の説明が十分必要。
- 材料化学という名前だとマテリアルのイメージが強いので、例えば、創成化学などの

言い方で、いろんな、化粧品とか薬品なんかに応用していくようなカリキュラムをイメージできる名前だと良い。

- やはり女子学生が惹かれるものは、化粧品だったり、香料だったりするので、そのイメージを付ければ女子学生に入ってもらいやすくなると思う。
- 情報も女子学生の需要はある。
- 大学院進学を考える学生にとっては成績もある程度必要になってくる。そういう（成績が優秀な）学生に対しては金銭面の援助もあると、学生視点としてはありがたい。
- 経営者として見たときに、今のこの基本構想で果たして定員が埋まるのかというのを本当に危惧している。これから最も大事なものは、この北上に、どのような大学ができるのか、どのような特徴ができるのか、どんな差別化をするのかという、もっと掘り下げた議論。
- 大学の設立は、高度な学生がドアを叩いてくれるような企業になる良いきっかけ。50年、100年先を考えたときには、開発とか、あと生産性向上とか、そういうやはり知性を持って働く方々が入ってこなければ、将来的には、北上のものづくりは、衰退していくだろう。そういう意味では、大学で高度な教育を学んだ方が来ていただくというのは、本当に大賛成だし、それを発想していただいた市に対しても、本当にありがたいと思うのは事実だが、ただ、もう1つ、経営戦略として、勝ち筋、こうすれば定員が埋まるっていうものに対しては、まだまだ検討が必要。
- 寄付はすごく大事な考え方。何となくマイナスイメージだが、寄付をしながら、いろんな繋がりを持ちながら、お金で繋がるんじゃなくて、心を、思いをつなげて、それが結果としてお金になり、それを地元の企業が学生たちと一緒に取り組む活動資金に使っていく。ファンを集めて、地元の企業だけじゃなくて、世界の企業がファンになってくれる大学になれば良いと思う。そのために、教職員あるいは市役所職員、我々市民ももっともっと世間にアピールをしていかなければならない。そのための広報、プロモーションをして、ぜひみんなでアピールしていきたい。
- 今は世界的な動きとして、学生の意見を積極的に大学運営に取り入れなければならないという方向になっている。常に学ぶ側の人たちの貴重な意見を大学が取り入れて、それを大学運営に生かしていく大学なんだということも大きな特徴の1つになるのかな。
- 学生さんの視点で考えて、運営されていく、設計されていくっていうことがとても大事。学生にとって学びやすいとか、学生にとって柔軟性のあるカリキュラムとか、学

生と一緒に作っていく大学とかそんなようなことが多分、具体的にはレイトスペシャリゼーションということになる。

- 大学の特徴、差別化がないことには、おそらく前途多難。1つ、アイデアとして思うのは「北上に立地している企業の本社採用を目指す」大学にされたいかが。キャッチフレーズも考えたが、「技術を翼に」はいかが。世界に羽ばたいてくださいと。